

株主・投資家の皆様へ

第52期中間報告書

平成26年4月1日～平成26年9月30日

海外戦略 P4

アメリカ子会社のご紹介 P5

「本物志向」・「天然志向」・「健康志向」

を基本に、少量多品種短納期生産に磨きを掛け、
高付加価値の商品作りとお客様満足度向上に努めてまいります。

当中間期におけるわが国経済は、消費増税にともなう駆け込み需要の反動減に加え、アベノミクスによる急速な円安などで物価の上昇を招いたことから実質賃金が目減りし、個人消費は低調に推移いたしました。

食品業界では、台風や豪雨など悪天候の影響で飲料などの夏物商品の動きに悪影響が出ました。また、外食産業の売上が振るわないなど増税の影響が懸念される事態も見受けられました。

こうした状況のもと、当社グループでは、営業部門で外食、中食向け業務用調味料市場の開拓、拡大を図るため、業務用卸企業との取り組みやお客様に対する提案営業を強化すべく各種展示会に参加するとともに本社、各支店などで試食提案会を積極的に行いました。また、インターネット上の集客サイト「ラーメンスープ・タレ.com」



の充実を図り、ラーメン関連業界向けのアピールを強化いたしました。さらに、販売促進ツールとして「ラーメンスープ・タレ調味料総合カタログVol.2」を製作し、お客様への提供を開始いたしました。

商品開発部門では、営業スタッフとのお客様への同行を積極的に行うとともに開発スタッフの技術レベルの向上に努めました。

生産部門では、原材料費などの上昇を抑制すべく購買業務の見直しを図りました。

その結果、連結売上高は2,904百万円となりました。また、営業利益は53百万円、経常利益は為替差益などの影響があり110百万円、四半期純利益は42百万円となりました。

今後は引き続きカイゼン活動に注力し、品質と生産性向上を目指すとともに、全社的な品質保証業務の充実を図るべく品質保証室の体制を強化いたします。

米国子会社につきましては、日本からの輸入商品の販売に注力するとともに、工場建設に本格的に着手し、工場稼働の準備や工場稼働後を見据えた営業活動などに積極的な取り組みを行いました。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月

代表取締役社長

和山 明弘



事業内容のご紹介

和弘食品は業務用調味料メーカーとして創業以来、豊かな大自然に恵まれた北海道にその根をおろしてまいりました。当社の味づくりの基本は北海道の新鮮な海の幸、山の幸から当社独自の製造技術と設備により芳醇な自然のうま味である「だし」「ブイヨン」を採り出すところにあります。そして、当社はそれらをふんだんに活用した本物志向の「つゆ」「たれ」「スープ」や「天然エキス」などの商品を食品メーカー、外食企業、コンビニエンスストアなどの流通企業に向けてメニューとともに提供してまいりました。当社は少子高齢化の進行など社会の変化に対応すべく今後とも高付加価値の本物志向・天然志向・健康志向の商品作りを目指すとともに「食の安全と安心」を徹底して追求してまいります。



別添用スープ

業務用調味料作りの特長を生かし、独自の天然のうま味である「だし」「ブイヨン」を使用することで、より本格的な専門店の味をご家庭にお届けしております。

主要品目 各種調味料・スープ・たれ類



業務用スープ

専門店での仕込み作業を軽減し本格的な味づくりをバリエーション豊かに応援。主力のラーメンスープ他、ガラスープ、めんつゆ、外食、中食、水産、畜肉等のメニュー作りをお手伝いする数多くの商品ラインナップがあります。数多くの企業や繁盛店を応援しております。

主要品目 各種調味料・スープ・たれ類



天然エキス

当社主力製品の1つです。北海道の大自然で育まれた新鮮素材を十分に吟味し、独自の製造技術により純粋な天然エキスを創りあげました。これらエキスは自社オリジナルの加工原料として、数多くの製品に取り入れられるとともに外販しております。

主要品目 エキス、ブイヨン等（コンブ・ホタテ・カニ・ポーク・チキン等）

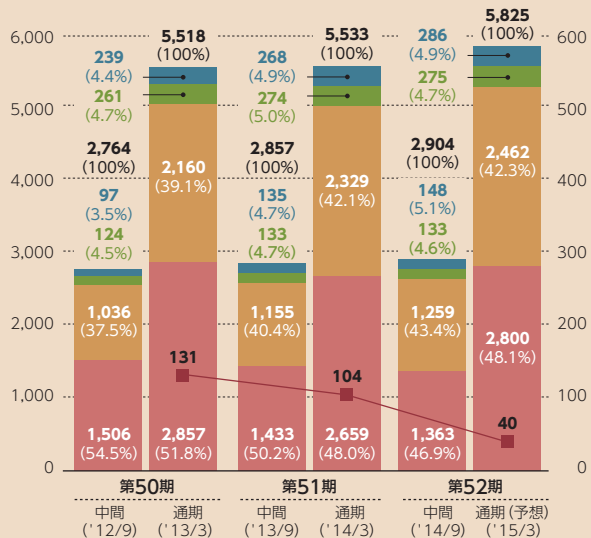
海外戦略



当社グループの事業の新たな柱として、海外展開を推進しております。北アメリカの現地展開、アジアへの輸出増大を目指し、積極的に販路拡大を図ってまいります。一言に「海外展開」と言っても、文化も違えば言葉もルールも異なるマーケットですので、準備を十分に整えて、現地顧客のニーズに対応したメニューやレシピ提案を通し、地域に根差した事業展開を行ってまいります。



売上高 (百万円) ■ 別添用 ■ 業務用 ■ 天然エキス ■ 商品等 ■ 営業利益 営業利益 (百万円)





アメリカ子会社のご紹介

WAKOU USA INC. (カリフォルニア州)
13930 Borate Street, Santa Fe Springs, CA 90670

50年の経験を活かし、
変化する北アメリカでの食文化を開拓してまいります。

アメリカ
X

日本食文化



▲ アメリカで販売中の商品（使用例）

2012年に北アメリカ（カリフォルニア州）に子会社（WAKOU USA INC.）を設立し、現地生産に向けて新工場を建築中であります。また、現地での販売体制確立に向け、ラーメン店をはじめとする外食産業等へ、精力的な営業活動を行っております。建築中の新工場では、高品質なラーメンスープ・ベースのほか、さまざまなソースの製造が可能となります。WAKOU USAは、最も美味しく、安全で、お客様にご満足いただける商品をお届けすることに真摯に取り組んでまいります。



WAKOU USA INC. ホームページ

<http://wakouusa.com/>

なお、WAKOU USAには、和弘食品のウェブサイト上で、トップページ→会社情報→ネットワークに進んでいただき、そのページの一番下にある「海外拠点（コーポレートサイト）」からアクセスすることができます。

財務諸表

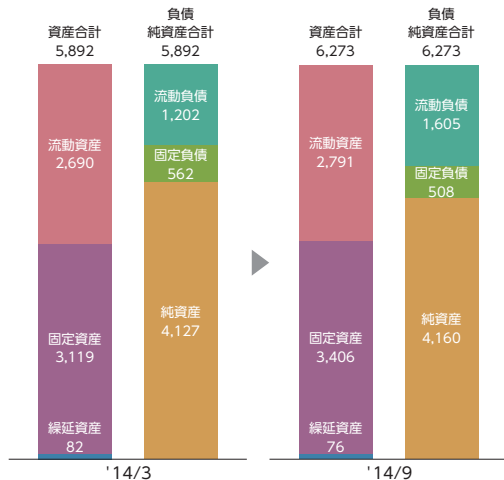
詳細な財務情報は

和弘食品 IR情報

検索

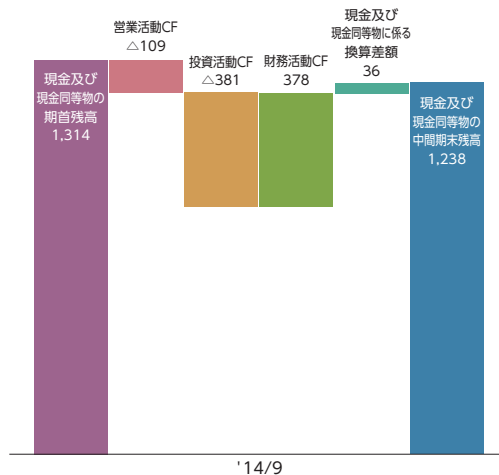
中間連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



中間連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



当中間期決算のポイント

◇ 中間連結貸借対照表

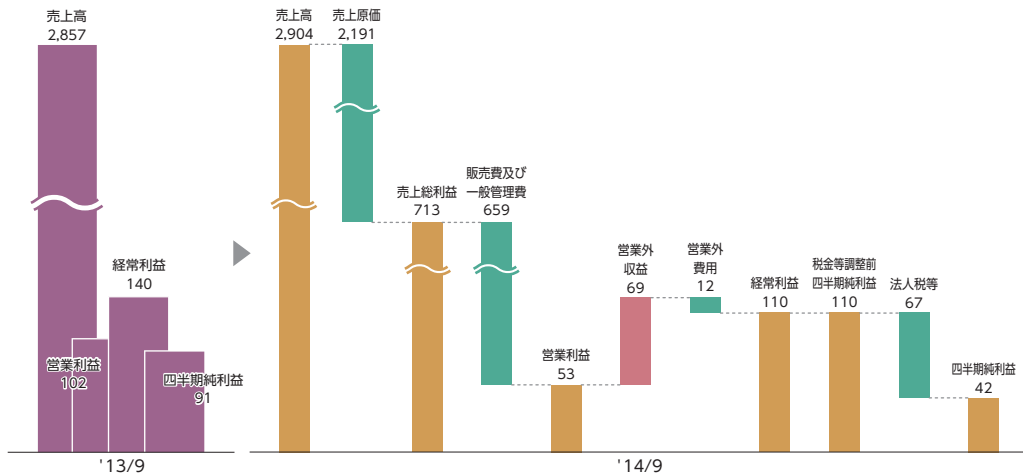
資産合計は、米国子会社の工場建設に伴う建設仮勘定の増加等により、380百万円増加しました。また、負債合計は、短期借入金増加等で347百万円増加し、純資産合計は、四半期純利益の計上等で33百万円増加しました。

◇ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動CFは主に売上高の季節的変動による売掛金及び棚卸資産の増加により109百万円減少、投資活動CFは主に有形固定資産の取得により381百万円減少、財務活動CFは主に短期借入金の増加により378百万円増加、現金及び現金同等物に係る換算差額は36百万円増加となり、現金及び現金同等物の中間期末残高は前期末と比べ76百万円減少し、1,238百万円となりました。

中間連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



👉 当中間期決算のポイント

◇ 売上高・売上原価・売上総利益

売上高は、別添用スープが減少したものの業務用スープの増加によりカバーし、前年中間期比1.7%増加の2,904百万円となりました。

売上原価は、原材料等の高騰により前年中間期比2.5%増加の2,191百万円となりました。

以上の結果、売上総利益は前年中間期比0.8%減少の713百万円となりました。

◇ 営業利益・経常利益・四半期純利益

営業利益は、米国子会社の現地生産に向けた経費の増加等により、前年中間期比47.8%減の53百万円、経常利益は為替差益等の影響により、前年中間期比21.5%減の110百万円、四半期純利益は前年中間期比53.1%減の42百万円となりました。



会社概要 (平成26年9月30日現在)

会社名	和弘食品株式会社
(英文名称)	Wakou Shokuhin Co., Ltd.
設立	昭和39年3月30日
資本金	1,413,796千円
本社所在地	北海道小樽市銭函3丁目504番地1
従業員数	164名(連結169名) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数(パートタイマー、臨時社員を含む。)の年間平均雇用人数は87名であります。

取締役及び監査役

【取締役】

代表取締役社長	和山明弘 (生産本部管掌)
専務取締役	中島康二 (営業本部長兼営業部長兼商品部長兼経営企画室長兼提携業務推進室長)
常務取締役	市川敏裕 (管理本部長兼経理部長)
常務取締役	後藤政弘 (品質保証室長兼CVS担当 WAKOU USA INC. President)
取締役	城畑孝康 (生産本部長)

【監査役】

常勤監査役	久松幸雄
監査役	森本 清 (森本清税理士事務所所長)
監査役	森川潤一 (森川公認会計士事務所所長 北海道中央バス株式会社社外監査役)

※ 監査役久松幸雄氏、森本清氏、森川潤一氏は、社外監査役であります。また、監査役森本清氏及び監査役森川潤一氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

NETWORK

国内



アメリカ





株式情報 (平成26年9月30日現在)

発行可能株式総数	16,600,000株
発行済株式の総数	9,493,193株
株主数	2,301名
総株主の議決権の数	8,179個

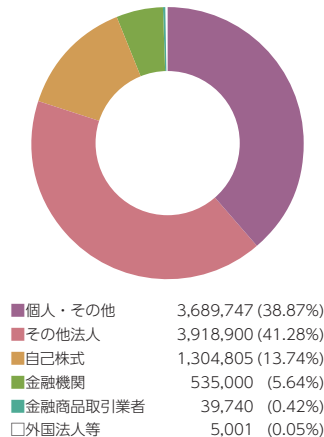
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社和山商店	2,074	25.33
日清オイリオグループ株式会社	1,600	19.53
和山 明弘	206	2.51
株式会社北陸銀行	190	2.32
水元 公仁	150	1.83
株式会社北海道銀行	142	1.73
日本生命保険相互会社	90	1.09
中川 なを子	80	0.98
和弘食品社員持株会	73	0.89
斎藤 大洲	55	0.67

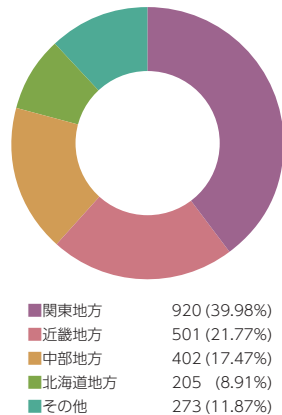
※ 1.当社は、期末日現在自己株式を1,304,805株所有しております。
2.持株比率は自己株式(1,304,805株)を控除して計算しております。

株主構成

[所有者別 (株式数) (株)]



[地域別 (株主数) (名)]



株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.wakoushokuhin.co.jp/) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
証券コード	2813 (東京証券取引所)

和弘食品株式会社

北海道小樽市銭函3丁目504番地1 <http://www.wakoushokuhin.co.jp/>

【お知らせ】

ご注意

- ①株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ②特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- ③未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



環境保全のため、植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。